

## そば物語ソバ蒔き編 9/6



今回はそば物語ソバ蒔き編について、報告します。  
新型コロナウイルスが社会的に大きな影響を及ぼす中、私たちNPO法人元気おおとよも、様々な活動を自粛しています。しかし、今こそ大豊町に元気を届けるため、元気にするために、今回のそば物語もイベントとして開催しました！

今回のそば物語は、ソバの種まき&ガレットの試食編です。当日は雲一つない快晴の中、7人の参加者を迎えてのソバ蒔きになりました。

毎年試行錯誤しているソバ蒔きですが、今年こそソバ畝を立て、ソバを蒔くぞと決意。しかしながら、なかなか思うようにいかない天候。夕立という名の豪雨に会い、イベント当日の朝にようやく畝をたてられる状態に。ソバは、水はけのよい環境が良いとされています。みなさんもソバを蒔かれるときには、傾斜地や、畝を立てた畑などがおすすめです。

そして、今年のもう一つの試みとして、3種類のソバの種を蒔きました。使った種は、岩原の方で栽培されていた赤い花のソバ、東北の方で栽培されていたソバ、私たちが作ってきた地ソバの3種類です。

ソバは他家受粉といって、自分自身の花では受粉をせず、ほかの個体から花粉をもらい受粉する作物です。これは、個体によって、めしべがおしべより長いものと、めしべがおしべより短いものがあるためです。そのため、多品種間での交配が早く、近く

に別の品種のそばをまくことは嫌われます。しかし、それを逆手に取ることにより、その地にあった特性のソバを残すことができます。ちょっと長くなりました(汗)

その3種類の種を、子供たちをはじめ、参加者全員で蒔いていきました。今回は赤い花と白い花のソバを畝ごとにわけて蒔いたので、花が咲くころが楽しみです！

そして、作業の後はお待ちかね、おおとよガレットの試食です。今年イベントの中止が相次ぎ、出番がなかなかきませんが、やっと嬉しそうに頬張る素敵な笑顔たちに出会えました。(中平)

### 次回のそば物語イベント情報

11/22 (日) そば収穫体験&そばの試食

12/6 (日) そばの脱穀&交流会

2/7 (日) そば打ち教室&実食

を予定しております。  
みなさまのご参加をお待ちしております。

## 移住者紹介コーナー



今回の移住者紹介の方々は一人的に、満を持しての登場！！

林利生太 (はやしりゅうた) さん、彩香 (あやか) さんご夫婦と、結婚して大豊町で生まれた結珠 (ゆず) ちゃん三名の林ファミリーです。前々から取材したいと思っていたのですがなかなかタイミングが合わず、今回やっとご紹介することができました。林さん夫婦は移住されて4年ほど、大豊町に移住したきっかけや、住んでみての感想、今後の展望なんかを聞いてみました。

### いつ大豊町へ移住？そのきっかけは？

利) 学校教員になるために高知大学に入学したのですが、視野を広げるために休学し、柏島のNPOで教育活動をしていました。ちょうどその時に、嶺北で活動している大学の先輩の繋がりや、碁石茶作りをお手伝いするようになった事がきっかけです。

活動中に地元の方々とお話をするなかで、高須地区にある元郵便局舎をお借りできることになり、「ここで挑戦したい！」という思いで住む事を決めました。

妻とは高校時代からの付き合いなのですが、その際に、地元の兵庫にいる彼女も誘い、大豊での生活を始めました。

### お二人は仕事など普段何をされていますか？

利) NPO法人ひとまきという若者向けのキャリア支援を行う団体を運営しています。元郵便局舎はシェアハウスとして、生き方を見つめ直したい若者を全国から受け入れ、理想とする働き方や暮らし方を選び直すサポートをしています。

その他には、大豊町中学校で柔道の指導をしたり、ベビーリーフの栽培をしています。

彩) ポーチや財布など、ハンドメイド小物の販売。ホームページの制作をしたり、インターネットサービスを作る仕事をしています。

《まだまだ質問は続きます！裏面に続く》